

## Support for **Woman Doctors** ～私からあなたへ～

原田 和歌子 先生【広島県 22期】

広島市立安佐市民病院

お子さんは小6女子 小1男子の2人



広島22期 原田です。義務年限が明けて7年目、現在、広島市立安佐市民病院総合診療科4年目となりました。ついこの間医学生で、医者になって気が付いたら16年、40歳をこえていました！子どもは小学6年生の女の子と小学1年生の男の子がいます。

とてもここで披露できる歴史ではありませんが、震災支援でお世話になった17期小出大先輩からのバトンであり、女性も十人十色、性格も背景も、環境も支援も全く異なる中で、もしかしたらこのエッセイで元気が出る人がいるかとも思い、リレーをつなごうと思います。

まず、この16年間は子どもや両親、周りのみなさんにたくさん支えられてここまで来たことに感謝です。そして振り返ればこの義務年限がなければ女性である私は子どもや家族を大切にすあまり第一線の臨床医は続けられなかったであろうこと、また子育て中の若い私を、地域の医療崩壊真只中の病院へ派遣し、病棟や一般外来、救急等、医者冥利に尽きる誇りある仕事に従事させてくださった、勇気ある諸先輩方、それを受容してくださった地域の住民のみなさんに今となっては感謝につきません。お陰様で気が付けば何とか医者らしくなりました。

とはいえ、実は私、自治医大がずっと好きになれませんでした。(学生時代の仲のいい女友達、クラブの先輩後輩、ゼミの先生方、大好きでかけがえのない思い出ではありますが) 当時は、寮である自治医大村からでたら村八分的な感覚も非常識に思え社会と隔絶されているような気がしていましたし、当時バブルがはじけて間もない華やかな総合大学の普通の女子大生がしてみたかったというもありました。

それが9年の義務年限を地域医療で右も左もわからずただただ走りぬけた後、ずいぶんかわりました。その理由はまず2011年震災の支援で南三陸を訪れた際に、自治医大卒業生があらゆる分野で働いており人脈があり何もない中から対応できる底力に触れ、そして9年間で染みつけた地域独自の共通のスピリットを感じることができたこと、そして学会で久しぶりに訪れた同級生の診療所をみて、詳しいことは聞かずともその苦勞と楽しさとがわかり涙が出そうになったこと等、時が経った今、自治医大生として歩んできたことにつづく誇りを感じる次第です。



さて、プライベートでは、医者2年目の当時『これで男性との出会いはきっと最後！』と思いこみ今の旦那さんと結婚し(今となっては(…???)ですが)、3年目に地域の中核病院に送り出されました。現在働いている病院の3年目では考えられないことですが、自治医大ならではの一人入院主治医と外来患者の嵐、1次～3次一人救急を行いました。ある時夜勤帯の50代お母さん看護師さん達から、『子供を産む時期は計算しなくていい、その時にどうにかなる』と説得され妊娠、翌4年目に出産、そして上の子供が生まれて12年、ほぼ走ってきました。我が家は幸い？主人は単身赴任もあり何もしないタイプなので(いやいや結婚当初は子育てに協力してほしくてよく喧嘩しましたが、無駄試合はやめました)、おかげで定年退職直後の実家の母とマッチングし子どもと母とともに地域を回りました。2-3時間毎に夜泣きをする感受性の強いわが子を抱いているとよく急変や緊急の内視鏡等の呼び出しがあり、泣きじゃくるわが子をひっぺがして母に託し家を転がりていました。貴重な休日は朝早く子どもが寝ているうちに仕事をすませ帰宅し眠たい目をこすりながら遊んで、わが子はちゃんと育つのだろうかと心配で心配でなりません。が、その子も小学6年生となり、家で宿題をしているところを『ママが教えようか』と部屋に入ると『ママは疲れているからいいよ。ベッドでワンピース読んで横になったら』というほど優しい子になり、私の方は貸してくれた漫画本に思わず夢中になり娘のベッドでぐーぐー寝てしまう始末です。5歳離れた男の子については、お姉ちゃんがそれなりに育っていることにすっかり安心し、孫育てを生きがいにしているおじいちゃんおばあちゃんにしっかり頼って子育てするようになりました。というか、40歳手前から、休日子どもが寝ているうちに仕事をおわらせて休日家事と遊びを丸ごとしようとする、風邪をこじらせるようになり、無理がきかない身体になりました(˘-˘)。

それにしても、わが子たちは父母が忙しいためたくましくなり、じいじあばと一緒にいるからか、地域の方々にことのほか可愛がってもらっているようです。

呼び出しのため遠くにいけないので、地域のあらゆる行事とお祭に参加させてもらい、お陰様で今は二人とも祭りで開催される相撲の春場所秋場所 優勝(準優勝)候補です。(あつ、お姉ちゃんは卒業しました。)

後輩医師・学生へ一言メッセージ

『女は笑顔と体力！ そして感謝』